



IESH-MB308G-R / MB305G-R Industrial Ethernet Switch

Quick Installation Guide

V1.0

製品紹介

IEEE 802.3, 802.3auおよび802.3ab規格に対応した産業用フル・ギガビット・イーサネット・スイッチのIESH-MB308G-R / MB305G-Rは、8 (5) x 10/100/1000BaseTXを備え、厳しい環境で使用可能なIP-31保護規格に適合した高耐久性金属ケースを採用しています。また、同製品はポート・リンク切断時または停電時にアラームを発生する、DIPスイッチでオン/オフの設定が可能なリレー出力を1基備えています。IESH-MB308G-R / MB305G-Rには6ピンの着脱式端子台を使ってDC 24V (12~48V) の電源を提供してください。

梱包品確認リスト

ボックス内容

- IESH-MB308G-R / MB305G-Rスイッチ
- クイック・インストール・ガイド



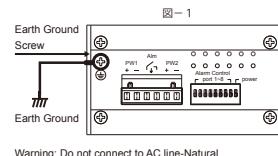
本体の取り付け

- DINレール・マウント: IESH-MB308G-R / MB305G-Rの背面にねじで装着されている
DINレール・クリップをDINレールに取り付けます。

IESH-MB308G-R / MB305G-R

スイッチの接地

IESH-MB308G-R / MB305G-Rの底面には接地用ネジが1基用意されています。安全性を確保し、ノイズを防ぐために、スイッチの接地用ネジを接地してください。図-1を参照してください。



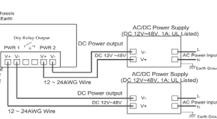
Warning: Do not connect to AC line-Natural

電源入力の配線

- プラス線とマイナス線を端子台コネクタのV+端子とV-端子にそれぞれ挿入します。
- DCケーブルが外れないようにワイヤー・クランプ・ネジをしっかりと締めます。図-2を参照してください。

メモ: 推奨動作電圧はDC24V (DC12~48V) です。

図-2



リレー出力の配線

下図のように、リレー出力アラーム接点は端子台コネクタの中央に配置されています。ケーブルを接続し、各ポート・アラームのDIPスイッチを「オン」に設定することで、リレー出力アラームは任意のポートの切断を検出し、ショート回路を形成します。アラーム・リレー出力は「常時開」です。

図-3を参照してください。

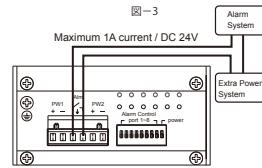
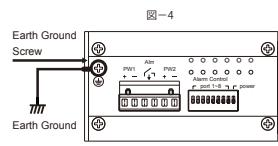


図-3

接地の配線方法

産業環境では、ACモーター、電気溶接機、発電機など、電磁気を発生して通信を妨害する多数の自動装置が存在する場合があります。そうしたノイズを防ぐために、スイッチを正しく接地してください。



接続方法は以下の図の通りです。図-4を参照してください。

ネットワークの接続

イーサネット・ポートの接続: イーサネット・ケーブルの一方の端をIESH-MB308G-R / MB305G-R のUTPポートに接続し、他端を接続したいネットワーク装置に接続します。UTPポートはすべて自動MDI/MDIX機能に対応しています。速度のLEDはギガビット・リンクで点灯し、10/100Mbpsリンクで消灯します。また、LINK/ACTのLEDはリンク確立時に点灯し、パケット送受信時に点滅します。

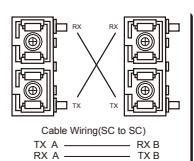


図-4

アラーム・リレー出力のDIPスイッチ設定

ピン番号	ステータス	説明
P1 to P8 (ピン1~8)	オン	このポートのポート・リンク切断アラームをオンにします。
	オフ	このポートのポート・リンク切断アラームをオフにします。
P9	オン	停電アラームをオンにします。
	オフ	停電アラームをオフにします。

CPQ018N3005000